

未来のパイロットを育てる、新たな一手！ 「Peach パイロットチャレンジ制度 with AIRBUS」 ～本日より応募者向け説明会を開催～

- ・ 訓練開始は2019年4月1日～
- ・ ANAグループ、エアバス協力の下、Peachが全面的に支援
- ・ 訓練中のPeachからの手当支給に加え、Peachおよび三井住友銀行で訓練費用をサポート
- ・ 8月24日現在で、2,000名を超えるWEBエントリーを受付

Peach Aviation 株式会社(以下:Peach、代表取締役 CEO:井上 慎一)は、ANA グループ、エアバス、三井住友銀行の協力を得て、パイロット育成プログラム「Peach パイロットチャレンジ制度 with AIRBUS」を創設し、8月6日よりチャレンジ生の募集を開始しました。これにともない、本日、大阪にて第1回目となる応募者向け説明会を開催しました。

第1回目の説明会には、40名を超える方が参加し、プログラムの概要説明や現役パイロットによる体験エピソード紹介などを行いました。

参加者からは「これまでにない、新しい取り組み。制度に関する細かい質問にも答えていただき、理解が深まった(20代男性)」、「現役パイロットの方の話聞き、志す気持ちがさらに高まった。パイロットとして長く働きたいと思っており、Peach にはその環境があると感じた(30代女性)」など、本プログラムに対する大きな期待感を表すコメントが上がりました。今後東京会場を含め、複数回に渡り説明会の開催を予定しております。また、本日現在で、2,000名以上の方々からのエントリーを頂戴しております。



この制度は、ANA グループのサポートを受け、Peach が選定した高い水準の訓練プログラムにて、エアラインパイロットに必要なライセンスを取得するものです。

また、訓練については、海外での EASA ライセンス*取得訓練(前半)と、国内で実施する JCAB ライセンス**取得訓練(後半)の2部制で構成されています。

*EASA ライセンス: EASA(欧州航空安全機関) 加盟国各国が発行するライセンス

**JCAB ライセンス: JCAB(国土交通省航空局)が発行するライセンス

前半の海外訓練は、海外の「L3 CTS Airline and Academy Training Limited(ニュージーランド、イギリス)」にて約1年8か月間の訓練を実施し、欧州の事業用操縦士ライセンスならびに、計器飛行証明を取得します。訓練費用は自己負担となりますが、Peach は「パイロットチャレンジ生」に対し、現地での生活費などに活用できる「チャレンジ手当」を支給します。また、三井住友銀行の協力のもと、海外でのライセンス取得に係る費用の支払いに利用することができる「訓練費用サポートローン(仮称)」を現在準備しております。

後半の国内訓練は、海外訓練終了後、国内の本田航空にて、8か月間にわたり、日本のライセンスへの切り替えにおける学科教育・実機訓練を行います。なお、海外訓練を終了し、「Peach 自社養成訓練生」として入社いただき、その後に必要となる日本国内での訓練費用については、Peach が全額負担します。

Peach では、これまで、航空大学校、私立大学の操縦士養成課程、フライトスクール等でパイロットライセンスを取得した方を採用し、社内で副操縦士として養成を行ってきました。

また、今年7月には2012年に採用した第一期生の中から、機長昇格者も誕生しました。このように、Peach では創業当初より運航乗務員の育成に意欲的に取り組んでまいりました。

今回の取り組みは、LCC の普及などにより航空総需要が急激に拡大している昨今のアジアにおいて、パイロットを目指す方々の経済的負担を軽減した上で、実践的な訓練プログラムを提供し、パイロット育成を行うものです。これにより、将来のパイロット不足の緩和を目指します。

代表取締役 CEO の井上慎一は「Peach は日本初の LCC として、これまで数多くの新たな取り組みを展開してまいりました。日本の航空業界のパイオニアとしての次なる一手は、航空業界の更なる発展に向けた、日本の LCC 初となる独自のパイロット育成プログラムの展開です。特に日本、そしてアジアの空に羽ばたくことを夢みる方々のチャレンジを大いに歓迎するため、質の高い訓練プログラムを用意いたしました。今後は、パッションを持った貴重な人材を育成し、アジアのリーディング LCC を目指し、航空総需要の拡大に貢献してまいります」と述べております。

また、エアバス・ジャパン株式会社のステファン・ジヌー代表取締役社長は「航空業界の発展のための喫緊の課題として注目されるパイロット不足に Peach が取り組み、我々がそれをサポートできることに大きな喜びを感じます。Peach パイロットチャレンジ制度を利用した若きパイロットが日本に多く生まれることを心から楽しみにしています」と述べています。

Peach は、2020 年以降 50 機を超える機材と、国内線、国際線合わせて 50 路線以上の規模で、日本とアジアをつなぐ路線ネットワークをさらに拡充し、アジアのリーディング LCC、そして、アジアのかけ橋を目指してまいります。

「Peach パイロットチャレンジ制度 with AIRBUS」への募集要項は以下のとおりです。
応募エントリー方法は、こちら(<https://recruit.flypeach.com/>)をご覧ください。

【Peach パイロットチャレンジ制度 with AIRBUS 募集要項】

業 務 内 容 : 操縦士のライセンス取得訓練

採用予定人数 : 若干名

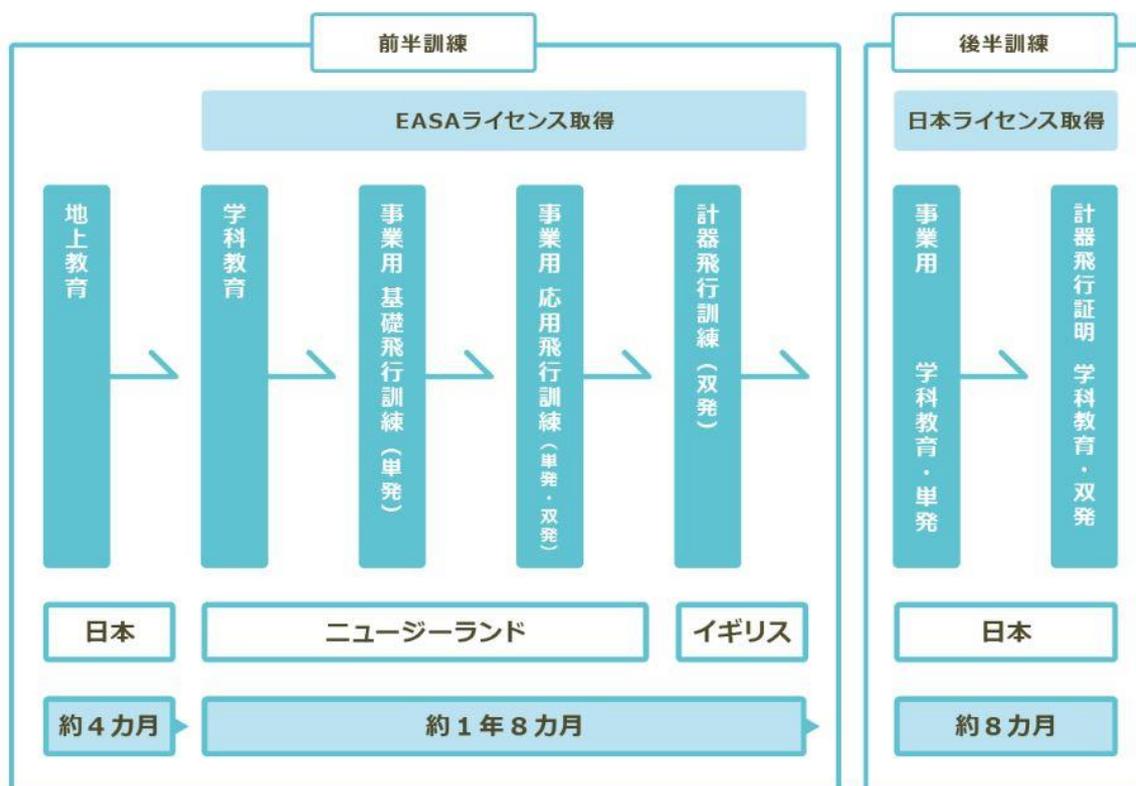
- 対 象 者 :
- 2019 年 4 月 1 日の時点で次のいずれかに該当する方もしくはその見込みの方。
 - 4 年制大学に 2 年以上在学し、全修得単位数が 62 単位以上の方。
 - 短期大学、高等専門学校、4 年制大学を卒業、または大学院を修了した方。
 - 上記(1)または(2)に掲げる者と同等以上の学力を有すると弊社が認める方。
海外の学校も対象となりますが、必要書類の提出を求める場合があります。
 - 英語能力: TOEIC600 点相当程度以上を有する方
 - 各眼の矯正視力が 0.7 以上であること。(裸眼視力の条件はありません。)各眼 0.7、両眼 1.0 以上の視力に矯正できるレンズの屈折度が±8 ジオプトリーを超えないこと。(オルソケラトロジーによる矯正を行っていないこと。)
 - 日本をはじめ各国で発行した事業用操縦士免許および自家用操縦士免許を取得していない方。

エントリー期間 : 9 月 5 日(水)まで

入社時期 : 2019 年 4 月 1 日(予定)

<参考資料>

■「Peachパイロットチャレンジ制度 with AIRBUS」における概要



[Peachについて \(www.flypeach.com\)](http://www.flypeach.com)

Peach は、2012 年 3 月に関西空港を拠点として運航を開始しました。2014 年 7 月には那覇空港、2017 年 9 月には仙台空港を関西空港に次ぐ拠点空港としました。現在、21 機の機材で、国内線 16 路線、国際線 15 路線に就航し 1 日あたり最大約 100 便以上を運航するとともに、13,000 人以上のお客様にご利用いただいております。